

教科研究開発高度化系
教科学習探究コース 言語・文化プログラム
専門科目：プログラム別問題（国語）

【出題の意図】

1（配点30点）

国語教育、近現代文学、古典文学、漢文学、日本語教育の分野から事項を出題し、解答者の専門性に応じて選択できるように出題した。採点にあたっては、選択した事項の基礎的知識に関する記述が十分になされているか、発展的な理解に関する記述がなされているかを評価している。また文法、使用語彙、構成、分量、表記など文章表現の面からも評価している。

2（配点70点）

大学院で授業力を向上させる学びを行うために、前提となる基礎的な力を問う。小学校・中学校・高等学校のいずれかの学校種を選択し、学習指導要領に基づいて、領域に応じた学習指導案を作成する力を問うている。文部科学省、国立教育政策研究所、各都道府県の教育委員会の用意している学習指導案や評価に関する資料を理解し、記述に反映できているかを評価している。特に、単元目標を適切に設定できているか、単元の評価の計画を設定できているか、本時案における評価の方法の記述がなされているかという観点で採点している。また、単元計画と本時案について、現実的な授業計画となっているかという点も評価している。

教科研究開発高度化系
教科学習探究コース 言語・文化プログラム(英語)
専門科目：プログラム別問題

【出題の意図】

1 (配点50点)

この問題では、第二言語習得研究で議論されてきた knowledge（知識）と skill（技能）の関係について、DeKeyser の主張を正確に読み取り、筆者の論理展開を理解できているかを評価した。また、言語に関する知識と、実際のコミュニケーションで言語を使う技能がどのように異なるのかを理解し、従来の外国語教育がなぜ十分な技能を育てられなかったのかという問題点を把握できているかも評価した。さらに、現代の外国語教育において、知識・技能・学習方法・指導方法がどのように結びつくのかを、本文に基づいて論理的に考察できるかを評価した。

【出題の意図】

2 (配点50点)

この問題では、デジタル教科書を単なる提示や反復練習のための道具として捉えるのではなく、英語によるコミュニケーションの目的・相手・場面・状況を設定し、児童生徒が情報を選び取って整理し、対話を通して考えを深めながら表現を改善していく授業を構想できるかを評価した。また、教師用版と学習者用版それぞれの特性を理解し、個別最適な学びと協働的な学びを両立させ、指導と評価を一体的に進める視点を持てているかについても評価した。